

君津郡市広域市町村圏事務組合総合教育会議 会議録

1 開催日時 平成28年6月28日(木) 午前9時から午前9時25分

2 開催場所 君津郡市広域市町村圏事務組合会議室

3 出席者

(構成員) 管理者 渡辺 芳邦(木更津市長)、教育長 高澤 茂夫(木更津市教育長)、  
教育委員 山口 喜弘(君津市教育長)、教育委員 川島 悟(袖ヶ浦市教育長)、  
教育委員 福島 友子(袖ヶ浦市教育委員)

(事務局) 事務局長 斉藤 晃、総務課長 山口 桂一、総務課長補佐 岡 修平、  
総務課総務係長 門脇 紀、総務課主事 分目 琢也

(教育委員会事務局) 庶務課長 茂木 昇治

4 欠席者

(構成員) 教育委員 渡辺 隆二(前富津市教育長)

5 議題及び公開又は非公開の別

○議題

(1) 視聴覚教材センターの今後のあり方について

(2) その他について

○公開又は非公開の別 公開

6 傍聴人の数

0人

7 会議の内容

斉藤事務局長 それでは、皆様お揃いでございますので、はじめさせていただきますのもよろしい  
でしょうか。

他の委員 はい。

斉藤事務局長 それでは、ただ今より君津郡市広域市町村圏事務組合総合教育会議を開会いた  
します。私は事務局長の斉藤と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず、会議の開催に先立ちまして、新たに教育委員とされました、福島友子教育委員を  
ご紹介したいと思います。福島教育委員は、袖ヶ浦市において保護者代表として教育委員を  
務められている方でございます。本会議におかれましても、よろしくご指導のほどお願いい  
たします。

福島委員 福島と申します。袖ヶ浦市から参りました。袖ヶ浦市では4年目になりますが、保  
護者代表ということで、今度は君津郡市広域市町村圏事務組合の方で、力不足ではあります

が頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

斉藤事務局長     ありがとうございました

次に、会議の出席状況について、ご報告させていただきます。前富津市教育長であります、渡辺教育委員におかれましては、所用のため欠席するとのことでございます。

それでは、会議次第に沿いまして進めさせていただきます。はじめに、渡辺管理者から挨拶を申し上げます。

渡辺管理者     皆さん、おはようございます。本日、君津郡市広域市町村圏事務組合の総合教育会議の開催におきまして、教育長、教育委員のみなさんには大変お忙しい中、早朝よりお集まりいただきましてありがとうございます。また、日頃から教育行政に関してご協力いただいていることを心より感謝申しあげたいと思います。本日は、今年の12月24日の最初の会議以来でございますが、会議の内容につきましてはすでにご報告させていただいている通り、視聴覚教材センターの今後の在り方についてということでございます。ぜひ、皆様に忌憚ないご意見を賜りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

斉藤事務局長     ありがとうございました。それでは議題に入りたいと思いますが、この総合教育会議は今年度初めての会議となりますので、よろしくお願いいたします。それでは、君津郡市広域市町村圏事務組合総合教育会議運営要綱第4条の規定により、管理者に議長をお願いしたいと思います。管理者、よろしくお願いいたします。

渡辺管理者     早速議題に入りたいと思います。

まず、議題（1）視聴覚教材センター今後のあり方について、事務局から説明をさせていただきます。事務局、よろしくお願いいたします。

茂木庶務課長     教育委員会庶務課長の茂木と申します。よろしくお願いいたします。

それでは、視聴覚教材センターの今後の在り方について、お手元の資料に沿ってご説明いたします。1ページをご覧ください。1経緯でございますが、平成23年度に開催しました企画財政担当課長会議で、袖ヶ浦市から視聴覚教材センターの教材の貸し出しが昨今減少しているため運営の改善が必要ではないか、という提案があり、関係四市の市長の了解をもとに検討に入ることになりました。そして、平成24年度に企画課長、生涯学習課長からなる検討会が設置され、必要な人員は1.6人程度であり、適当な職員配置及び業務量の抑制については、運営委員会で審議することとなり、それを受けまして、平成25年度に運営委員会で審議いたしました。その結果、必要な人員は検討会の報告書通り1.6人程度、併せて事業の一部見直し、そして検証を実施することになりました。

次に、2平成26年度、27年度の検証実施事項でございますが、1点目が職員体制の見直しに伴う人件費の削減についてでございます。専任職員2名を1名に減らし、所長は会

計課長との兼務、不足分対応として臨時職員1名の計3名体制をとりました。2点目が事業の一部見直しということで、1、16ミリ映写機点検日数の減、2、16ミリ映写機操作講習会実施回数の減、3、メディア研修開催日数の減、4、教材選定日数の減を行いました。また、新たに平成26年度から、5、フェイスブック等の活用を行い、ホームページの教材検索にリンクさせ、教材の内容説明を閲覧可能にしました。

次に、3、検証結果でございますが、まず、(1)の職員体制の見直しに伴う人件費の削減につきましては、2ページをお開きください。全体では、1、646万6千円の削減が図られました。(2)の事業の一部見直しにつきましては、16ミリ映写機点検、操作講習会、メディア研修、教材選定の日数を減らしても、特に問題はございませんでした。また、5、フェイスブック等の活用につきましては、PR不足やホームページの見づらさから利用は少なかったのでございますが、教材の内容を閲覧できるようにしたため、電話での問い合わせ件数は減少しました。(3)の教材貸出件数の推移につきましては、16ミリは減少、DVDは増加し、全体の貸出数としましては、平成25年度までは減少していましたが、平成26年度からは増加しております。

次に(4)の教材1本あたりの貸出にかかる経費につきましては、平成25年度約3万円に対し、平成27年度は9千988円に削減できました。

つづきまして、4 平成28年度の運営委員会会議及び4市教育長の意見交換についてですが、(1)運営委員会会議では、センターにさらなる事業改善に取り組むことを求め、存続の方向となりました。3ページをご覧ください。(2)4市教育長の意見交換では、子どもの視聴覚教育の観点からもセンターは必要性があり、財政的にスリム化できるが検討したうえで存続の方向との意見に集約されました。

次に、5 今後の方針等についてですが、市町村圏事務組合教育委員会事務局としましては、視聴覚教材センターは存続させる方針で考えております。ただし、存続にあたっては、次の事項について引き続き運営委員会に諮り検討していきたいと考えています。1点目でございますが、16ミリの貸し出し、映写機点検等の廃止についてでございます。現在、16ミリの貸し出しが毎年減少している状況のなかで、映写機及び16ミリフィルムはすでに販売しておりません。しかし、一方で幼稚園、保育園等では、部屋を暗くして、臨場感のあるものを見ることは大変味わいがあり、ぜひ残してほしいという意見も、少数ではありますがございますので、引き続き検討していきたいと思っております。2点目は配達業務や個別配信の可能性についてでございます。配達業務に関しては、センターが遠いのでなかなか借りに行けない、ぜひ配達をしてもらいたいという意見が多数ございます。しかしながら、現在の職員体制では利用者の手元まで配達することは困難であります。そこで、各市役所までセンター

が配達し、利用者は市役所まで取りに来ていただくという方法もあるかと考えております。また、インターネットを通じ、教材の動画を利用者に個別配信することにつきましては、著作権や経費という大きな問題がありますが、今後検討は必要だと考えております。3点目はセンター機能充実のための専門職の配置についてでございます。運営委員会で、センターは貸出業務だけに特化することなく、地域のセンターとして、利用者の相談に応じたり、技術的支援ができる機関でなければならないとの指摘もございまして、これには現在の職員では対応できない面がありますので、専門職の配置が必要となります。ただし、それには経費がかかりますので、その点の考慮もしていかなければならないと考えております。

4点目は、振興大会、メディアコンクールの在り方についてでございます。これは、同様の内容で千葉県視聴覚ライブラリー連絡協議会でも実施しておりますので、廃止してもよいのではないかと考えられますが、反面、廃止した場合、地域の独自性がなくなるのではないかとのご指摘もあり、検討を要します。

5点目は財政的スリム化についてでございます。これは、センターを存続していくにあたっては、当然、各市から負担金をいただいて運営していくわけでございますので、スリム化をできるものはスリム化を図り、常に各市の負担軽減を図っていかなければならないと考えております。

つづきまして、6の今後の会議予定についてでございますが、本日の総合教育会議をもちまして教育委員会での審議は終了となり、今後市長部局に移しまして、明日行われる1回目の企画財政担当課長会議で経過をご説明し、意見交換をしていただいたのち、案件を持ち帰っていただき、10月実施予定の2回目の企画財政担当課長会議で各市の集約した意見を持ち寄って審議をしていただきまして、その後、財政担当部長会議を経まして、最終的には12月開催予定の市長会議で結論を出していただく予定でございます。

なお、お手元に別紙1として検証結果資料、別紙2として運営委員会を経た各市等の意見の抜粋を配布しておりますのでお目通しのほどよろしくお願いたします。

以上で説明を終了させていただきたいと思っております。

なお、お手元に配布させていただきましたデータブックでございますが、今現在、センターで所有している16ミリ、VHS、DVDの一覧でございます。そして、教材名の右端にQRコードをつけてございますので、携帯電話等で読み取っていただければ、教材の内容説明が見られるようになっておりますので、参考のためにご用意させていただきました。

以上でございます。

渡辺管理者　ただ今事務局から、視聴覚教材センターの今後のあり方について、説明させていただきました。ご質問、ご意見等はございますでしょうか。

山口教育委員 君津市では、存続か廃止についてゼロベースで考えました。公民館、小中学校等にアンケートを実施し、39施設のうち、利用する施設が15施設で利用率が38%でした。多い意見としては、利便性と活用内容についてでした。良いところは著作権がしっかりしているので安心して使えるという意見がありました。ただ、配達面で、今、現場は非常に忙しいので出来れば配達していただきたいとの要望がありました。それ以外にも、君津地方の大切なアーカイブがあると思いますが、それを継承、管理していくにあたって専門職がないなど課題があるかと思います。業務を縮小するマイナスのベクトルではなく、存続するのであれば前向きな方向性がいいのではと思います。

君津は市長部局とも調整しまして、存続がいいのではないかとの結論になりました。

渡辺管理者 ありがとうございます。他にご意見、ご質問等ございましたらお願いします。

川島教育委員 概ね方向性はほぼ賛成という考えは持っていますが、今後の方針の中で、16ミリ映写機点検をやめてしまう等、業務を減らしていく方向が見え、27年度まで実施してきた経緯を考えたときに、特に問題はなかったのであれば続けられるものは続けていく、運営委員会の資料を見ると、教材の配送を知らなかったという記載もあるので、どのくらいの実績があったのかわかりませんが、もっと前面に出してアピールをしていく考えがあってもよいのではないかと感じました。

学校までは持っていけないが市役所までいく話がありましたが、教育センターに持ってきていただければ、教育センターから配送のシステムがあります。

社会教育施設では、施設の活用という中で、夜、庭に幕を張って映画会をやるというアイデアが出ていて、進藤家を使ってそれをやろうとか、公民館を使ってそれをやろうとか、いわゆる昔ながらの映画会をやるには16ミリ映写機やフィルムが必要になりますので、続けていただいていいのではないかと思います。

渡辺管理者 他にいかがでしょうか。

高澤教育長 木更津の方も、小中学校をはじめ利用者の方々の意見は総じてぜひ存続をしてほしいという意見がほとんどでした。この見直しの中の大きなポイントは財政的なスリム化かと思いますが、茂木課長からお話のありましたように、体制については現状維持であればやりきれるとのことですが、周知広報が必要と感じました。

また、これ以上の財政的な負担は無理なのではないかと思いますが、視聴覚教材センターの本来の仕事は貸出業務だけではなくて、地域の視聴覚教育の振興というのが本来が一番のメインでしょうから、視聴覚教育に関する研修であるとかを持っていかなければいけない、そういうところまで手を伸ばせば今後の存続の中で幅ができるのではないかと思います。そのためには人員配置、特に臨時職員にどういう人が適当なのかも含めて、今後検証してい

く必要があると考えています。

方向的には、この後企画財政担当課長会議、部長会議等予定されていますけれど、各市の負担金を中心に検討されるような形になるでしょうから、これ以上の財政的な負担は難しいのではないかと思います。少なくとも現状維持で存続をする中で、センターの運営内容について運営委員会等で再度揉んでいく必要があるのではないかと思います。

渡辺管理者 ありがとうございます。福島委員いかがでしょうか。

福島教育委員 保護者というか、子どもを学校に行かせている者の立場から見ると、学校訪問等で見させていただくと、目で訴える授業等でビデオを使っている教室が多く、教科書の文字や写真だけでは想像が膨らまないこともあると思うが、動く画像を見ることで、体験はできないが勉強になると思うので、貸出等を続けていただきたいと思います。貸出がうまくいってないのであれば、各市の教育センター等を通じてPRするといったのではないかと思います。

渡辺管理者 ありがとうございます。改めて他にご意見等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、視聴覚教材センターの今後の在り方については、原案どおりということによろしいでしょうか。

他の委員 はい。

渡辺管理者 ありがとうございます。次の企画財政担当課長会議では今日の意見を伝えていただくということでお願いをしたいと思います。

次に、議題（２）その他について、何かございますか。

斉藤事務局長 特にございません。

渡辺管理者 その他についてはないようですので、本日の議題は以上となります。進行を事務局にお返しします。ご協力ありがとうございました。

斉藤事務局長 管理者におかれましては、議長ありがとうございました。

以上をもちまして、君津郡市広域市町村圏事務組合総合教育会議を終了させていただきます。ありがとうございました。